

業務をつなぐ・広げる・デザインする (若手職員対象)



橋本 規孝(学校法人立命館 総務部秘書課 課員)

講師略歴

2006年4月に学校法人立命館に入職後、立命館大学国際関係学部事務室、立命館アジア太平洋大学アドミッションズ・オフィス(国際)、大阪いばらきキャンパス開設準備課、グローバル教養学部設置準備事務室などを経て、2020年11月から現職。

異なる部門を渡り歩いてきた経歴の影響で、業務経験の活かし方について悩みと関心を持ち、試行錯誤を続ける日々。修士(教育学)。京都芸術大学大学院学際デザイン研究領域(通信制)にMIとして在籍。

プログラム概要

仕事をしていて、「こうなったら良いのに!」というアイデアを思いついたり、「なぜこうならないの?」と疑問を抱いたりすることはありますか?

大学のあり方が変容するなか、このようなアイデアや気づきは一層大切になります。実現するのは簡単ではありませんが、ほかの業務とのつながりや関連する部局などの広がり意識して取り組むことで、実現や解決に向けた一歩を踏み出すことができます。

このプログラムでは、個人のアイデアをベースに、グループ内でアイデアを持ち寄り、「新しい学部の構想」をグループ単位で提案します。複数回のワークを通してメンバー同士で協力や調整をしながら、自分のアイデアを掘り下げ、ほかの部局などとの関わりについて考えます。自分のアイデアをほかのアイデアや業務とつないで広げ、グループとしてつくりたい学部を構想します。

準備物・事前課題

「こんな学部をつくりたい」「こんな仕組みや制度を設けたい」「こんな施設やサポートがあったらいいな」といったアイデアをいくつか箇条書きにして手元にご用意ください。参加者が持ち寄るアイデアが、新しい学部のタネになります。

主な受講対象者

- ・30歳程度までの事務職員
 - ・見つけた課題やアイデアを実現してみたい事務職員
 - ・アイデアのつなげ方や広げ方を学びたい事務職員
- ※学部等を新設した経験や教務部門での経験は不問です。

到達目標

1. 自分のアイデアを実現するためのプロセスをイメージできる。
 2. ほかのひとや部局の業務と自分のアイデアを関連づけて考えられる。
 3. 他者と協力・調整しながら、アイデアを具体化できる。
- ※学部等の設置認可申請の実務に関するプログラムではありません。

日時

8月26日(金)15時15分~17時15分